



壱岐高便り

第130号

発行責任者
山口 千樹



携帯
サイトへ

長崎県立壱岐高等学校

長崎県壱岐市郷ノ浦町片原触88

[TEL]0920-47-0081

[HP] <http://www2.news.ed.jp/section/iki-h/>

巻頭言

成長のとき

校長 山口 千樹



今年の夏も元気よくセミが鳴いています。7月末に出張で訪れた上海市では、排気ガスで黒ずんだ街路樹に、おびたしいクマゼミがとまって「シャア、シャア」と鳴いていました。この時期、壱岐では「ジー、ジー」と鳴くアブラゼミが主流で、クマゼミが主流になるのは8月になります。

セミといえば、フランスには「アリとセミ」という寓話があります。夏の暑さに負けず働くアリのかたわらで遊んでばかりのセミは、冬を迎えてひどい目にあうというものです。（日本では「アリとキリギリス」で知られている物語です。）実は、フランス北部にはセミはいないのですが、南部に住んでいたフェアブルは、セミを「昆虫記」でとりあげています。彼はセミの成虫が、夏の限られた時期にしか活動しないことに興味を持ち、解剖したり、鳴いているそばで大砲を撃ったり、食べたりしています。（美味しくないそうです。）

セミの幼虫は数年間、地中で生活します。幼虫は、根から樹液を摂ってゆっくりと成長します。やっと地上に出た成虫の雄は、雌にアピールするためにひたすら鳴いています（子孫を残すことが使命なのです）。やがて、雌が木に産み付けた卵がふ化すると、幼虫はその木の根本の土中に潜り、長い地下での生活が始まるのです。



セミの抜け殻（校内）

さて、暑い夏を乗り越えるという点では、生徒諸君もがんばりましたね。主な行事でも、1・3年生の学習合宿、看護体験、学童保育ボランティア、上海や長崎市での中国語学研修、歴史学巡検、シンガポール・オーストラリア語学研修があり、このほかに部活動の公式試合やコンクール、練習試合、合宿などもあったはずです。指導された先生方や支援された保護者の皆様もお疲れ様でした。生徒諸君は、この夏の活動に真剣に取り組むことができましたか？

これから迎える2学期は、勉強・部活動・学校行事にさらに打ち込むべき時期です。セミの幼虫が土の中でゆっくりと成長しているように、諸君もじっくりと成長するときに迎えています。焦って地上に出てはいけません。地道な取組こそが、諸君が世の中に飛び出すときの大きな力につながるのです。校歌にある「雌伏の三年、鉄の意志」の歌詞を思い起こして、2学期を乗り切ってください。

進路指導部 学習合宿報告



1年生は島内にて7月26日から3泊4日、3年生は大分県日田市にて7月30日から6泊7日の日程でそれぞれ学習合宿を実施しました。1年生は1日10時間を越える学習を経験し、「やればできる」という自信を得ることができたのではないのでしょうか。3年生は「自習リーダー」とその他全生徒が向かい合い真剣に自習を行いました。今後も合宿同様、謙虚かつ真摯な姿勢で学習に臨むようご家庭でもご指導をお願いします。

第 3 学 年 よ り

7月～8月にかけての夏は、家庭学習習慣を崩さずに過ごせましたか。9月以降もより一層、学習面・生活面において、継続した取り組みが求められます。

1～4組は、大分県日田市での学習合宿（7月30日～8月5日）で1日あたり11時間の学習をしっかりとやり遂げました。学習法に関する気づきも得られたことでしょう。「学習合宿は、受験モードに完全に切り替えるきっかけ」でした。そこで培った経験を学校・家庭でも継続することで初めて、合宿が有意義なものであったと言えるでしょう。

5組の皆さんは、いよいよ就職・公務員の試験が始まります。勝負のときです。これまで積み重ねた努力の成果を、普段どおり発揮できるよう、万全の準備で臨みましょう。

最後に、今週末にある体育祭では、3年生が中心となり、下級生をうまく牽引して大いに盛り上がってください！成功を祈ります！

第 2 学 年 よ り

前号で、「高校2年生の17歳の夏を最高のものにしてほしい」とメッセージを書きました。「学習と部活動を精一杯こなし、オープンキャンパスにも積極的に参加できる夏は、この夏しかない」という主旨でした。

70回生のみなさん、自分の夏休みに点数を付けるとしたら何点くらいですか。保護者

の皆様、お子様の夏休みは充実したものであったでしょうか。

いよいよ2学期が始まりました。9月前半は体育祭・文化祭・海洋生物実習（理系のみ）と行事ラッシュです。後半は中間テスト前となります。まだまだ暑い日が続いていますので、体調管理には十分すぎる注意が必要です。そして、学級・学年・学校が一体となれる行事を楽しんでいきましょう！

第 1 学 年 よ り

夏季休業中に、普通科は学習合宿、東アジアコースは上海語学研修に参加し、有意義であったとの感想を聞いています。ご家庭からのさまざまな支援のもと貴重な経験を積むことができたことに対する感謝を忘れず、これからの学校生活に繋げていって欲しいと考えています。

さて、2学期は体育祭や文化祭があり、また各部活動では、核となるよう、いよいよ練習も厳しさを増していく事でしょう。しかし、この間に身に付けた逞しさを持ってひとつ上のステージで活躍することを強く期待します。生徒たちが1学期以上の達成感を得られるよう、私たちも指導をしていきます。初めての全国模試を経て、進路実現の困難さも身に染みて分かったところで、かわすことなく、突破するための体力・学力・逞しさを日々の地道な努力の積み重ねの中で身に付けていくようご家庭でもご指導ください。

東アジア歴史・中国語 コース



【上海語学研修の様子】

また、コース2年生の中国語専攻8名は、長崎外国語大学で中国語研修を行いました。大学の講義の受講に加え、中国人留学生との交流を通して、語学力の向上に努めました。これらの夏の学習の成果は、秋以降の検定試験やスピーチコンテストの場で、大いに発揮されることでしょう。

7月22日（金）から8月5日（金）の15日間、コースの1・3年生16名が、上海外国語大学での中国語研修に参加しました。1年生は発音の基礎から日常会話を、3年生は世界各国からの留学生と同じ講義を受けるなど、レベルの高い環境で中国語コミュニケーション力の向上を目指しました。



【長崎外国語大学中国語研修の様子】

沓岐高Topics!

「歴史学巡検」

東アジア中国語・歴史コース（歴史学専攻）の2年生1名が、文化遺産に直に触れることにより専門性を高め、歴史学を追究する態度を養うことを目的に、長崎県内の史跡巡検を行いました。日程は以下のとおりです。

- 8月1日（月） 大村市
竹松遺跡・立小路遺跡・大村史料館
- 8月2日（火） 長崎市
寺町界限・長崎歴史文化博物館・二十六聖人記念館
- 8月3日（水） 島原市
島原城・松平文庫・原城跡
- 8月4日（木） 対馬市
金田城・万松院・対馬歴史民俗史料館



生徒は日ごろ触れることができない文化財に接することができ、歴史に対する理解をより深めることができました。また、訪問先の学芸員の先生方から、歴史学の研究についての貴重な話を聞くことができ、歴史に対する興味・関心をさらに高めることができました。



9月行事予定

①1年 ②2年 ③3年

1	木	体育祭設営 就職出願開始③
2	金	【代休9/3】
3	土	体育祭
4	日	公務員国家一般③
5	月	体育祭予備日 文化祭準備①②(午後)
6	火	文化祭準備①②(午後)
7	水	文化祭準備①②(午後) 情報教育
8	木	【代休9/10】
9	金	文化祭準備①②(終日)
10	土	文化祭
11	日	HSK②③
12	月	海洋生物実習②理系
13	火	海洋生物実習②理系
14	水	海洋生物実習②理系(午前) 長崎県・沓岐市講話①
15	木	LHR(後期自治委員選出)
16	金	就職試験開始③
17	土	★①② 進研マーク模試③ 進学ゼミナール
18	日	進研マーク模試③
19	月	【敬老の日】
20	火	
21	水	
22	木	【秋分の日】
23	金	各種専門委員会
24	土	沓岐地区高等学校PTA研修会(郷ノ浦)
25	日	
26	月	考查時間割発表
27	火	
28	水	
29	木	受験用写真撮影③(冬服) [1日目] 後期自治委員任命式
30	金	受験用写真撮影③(冬服) [2日目]

特集 文化部の夏！



長崎県吹奏楽コンクール
吹奏楽部顧問 坂井泉水

NHK杯全国高校放送コンテスト
放送部 中原杏

7月26・27日に第61回長崎県高等学校吹奏楽コンクールがアルカスSASEBOで開催されました。吹奏楽コンクールとは課題曲、自由曲を12分以内に演奏し、それぞれ金、銀、銅の賞がつけられる大会です。どの学校も金賞やその先の上位大会を目指し、気合十分で県大会に臨むため、会場は緊張感のあるピリッとした空気に包まれています。「練習は本番のように、本番は練習のように」を合い言葉にステージへ向かいました。部員の3分の2以上は初めてのコンクールでしたが、のびのびと演奏し自分たちの力を十分発揮することができました。結果は銅賞でしたが、部員一丸となって練習し努力した日々は決して無駄な時間ではありませんでした。これからも諦めずに「心に響く音楽」を追求していきたいと思えます。



私は7月25日から29日まで東京で行われたNHK杯全国高校放送コンテストに参加しました。



大会では他県の高校生が作った番組をたくさん見ましたが、ユニークな着眼点で日常を切り取ったドラマや、脚本が作り込まれたもの、それぞれのカットに深い意味のあるカメラワークの作品など、全国のレベルの高さを実感しました。

アナウンス部門では、一つひとつの文章を十分に読み込み、イメージが伝わる読みをしている人がいて、私はあの人を越える読みができるようになりたいと思いました。

今回の経験を生かし、来年は番組部門で準決勝に出場、私自身もアナウンス部門で全国大会に出場できるよう、日々の活動がんばっていききたいと思います。

最後になりましたが、羽田空港で私たちを温かく出迎えてくださった東京同窓会の皆様、お心遣いありがとうございました。

高校生シンガポール・オーストラリア英語研修

7月27日～8月10日の15日間、高い語学力と広い視野を身につけたグローバル人材の育成を目的として、県教委主催のシンガポール・オーストラリア英語研修が実施され、本校からは2年生の長嶋冴映さんと佐藤颯君が参加しました。

一行はシンガポールで語学研修を受けた後、企業訪問や自主研修を行い、オーストラリアではホームステイを体験するとともに現地の学校でプレゼンテーションを行うなど、充実した2週間を過ごしました。

参加した佐藤君は「この研修で視野が広がるとともに、飛躍的に英語力を伸ばすことができました。また高い目標を持った仲間たちと出会い、大変刺激を受けました。」と語っていました。長嶋さんは「多民族国家を訪問し、世界には様々な人がいることを肌で感じるできました。自分ももっと積極的に行動できる人材になりたいと思いました。」と語っていました。

